

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道石狩翔陽高等学校長

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

|              |
|--------------|
| 1 基本的生活習慣の定着 |
| 2 基礎学力の向上    |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目 | 自己評価の結果                                                                                                                      | 学校関係者評価の結果                                                                       |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 学校経営 | ・観点別評価への対応、ICT機器を活用した授業づくりなど、新たな課題に対して即応的な対応を図ることができた。<br>・高大連携をはじめ、地域の教育力を活用する具体的取組に不十分さがあった。                               | ・保護者、地域との相互理解を進める取組の一層の推進が必要である。<br>・総合学科の特色を積極的に情報発信し、本校の魅力を理解してもらう機会の充実を期待したい。 |
| 改善方策 | ・研修機会を一層充実させ、時代に即した教職員の能力向上への取組を今後も推進する。<br>・地域の教育力を活用した教育活動の推進に向け、石狩の地域資源、産業の特色への理解を深めるための取組を具体化する中で、本校の特色ある教育活動の地域への浸透を図る。 |                                                                                  |
| 学習指導 | ・基礎基本の定着と、学びに向けた生徒の主体性の育成を目指した授業づくりを行うことができた。                                                                                | ・ICTを活用した学習指導を今後一層組織的に進める必要がある。                                                  |
| 改善方策 | ・生徒の実態の把握に努め、ICTを活用するなど学習意欲を喚起できる創意工夫ある授業づくりを今後も継続する。                                                                        |                                                                                  |
| 生徒指導 | ・生徒、保護者との相互信頼を基本に、組織的な指導を行うことで、問題の早期発見と生徒の人格発達を促す指導を行うことができた。                                                                | ・本校の「のびのび」とした学びの在り方を一層生かす指導体制の確立に期待したい。                                          |
| 改善方策 | ・人格の形成・発展を図る機会を一層充実させ、望ましい生徒指導の在り方を組織的に追究する。                                                                                 |                                                                                  |
| 進路指導 | ・「産業社会と人間」を初めとした充実したキャリア教育、多様な進路選択を可能とする進路指導を行うことができた。                                                                       | ・次年次の履修科目選択が可能となるよう、柔軟な履修指導の方策を検討してほしい。                                          |
| 改善方策 | ・多様な進路選択が可能な本校の特徴を更に明確化できるよう、外部機関との連携の深化を図る。<br>・科目履修に関する事務作業の改善を図る。                                                         |                                                                                  |
| 健康安全 | ・悩みを抱えた生徒に対し、SCや児童相談所等関係機関との連携を図り、組織的に教育相談や支援方策の検討を行うことができた。                                                                 | ・SCの一層の活用を期待したい。                                                                 |
| 改善方策 | ・SCとの連携を継続し、今後は教員間での情報共有を一層図られるよう工夫を図りながら、生徒支援に努める。                                                                          |                                                                                  |
| 公表方法 | ・ホームページ、学校評議員会、PTA役員会にて公表                                                                                                    |                                                                                  |